

会 議 録

会議の名称	平成24年度第4回富士見市社会教育委員会議
開催日時	平成24年9月6日（木）午後7時00分～9時30分
開催場所	教育委員会 2階 会議室
出席者	中澤佳珠代委員、前田憲之委員、羽石貴裕委員 西山ひろみ委員、武田秀規委員、高野昂子委員 長ヶ原美博委員、田尻 円委員、佐藤晃子委員 事務局（生涯学習課長、副課長）
欠席者	1人（児玉亮一委員）
公開・非公開	公開（傍聴人 0人）
会議次第	1. 協議事項 （1）アンケート「地域活動の活性化と次代を担うなかまづくり」の検討 2. 報告及び連絡事項 （1）平成24年度西部地区人権教育実践報告会の開催について （2）その他 3. その他 （1）会議の開催について
会議資料	①公民館だより（7・8月合併号、9月号） ②難波田城だより ③アンケートの集計結果
会議録確認	西山ひろみ委員

会 議 内 容 (要点記録)

○ 議長あいさつ

○ 報告及び協議事項

1. 協議事項

(1) 協議テーマ「地域活動の活性化と次代を担うなかまづくり」の検討について

- ・ 進行議長から、本日の協議は、①アンケート「地域活動の活性化と次代を担うなかまづくり」の結果についての意見交換、②今後の分析とまとめについて、の2点について行うことを説明し、了承された。

- ・ 最初に、事務局から、アンケートを活動分野ごとのまとめた資料の説明を行う。

- 「アンケート」の配布先については次のとおり。

- ・ 配布した社会教育関係団体は、①地縁的団体2分野10団体、②ニーズに応じた任意団体9分野の100団体、③行政と協働団体8分野の16団体、④NPO法人等2団体、⑤公民館・交流センター利用団体6施設30団体、⑥ボランティア団体5団体、以上163団体とする。

回答があった団体は、子ども会育成会16件、地域子ども教室8件、学校応援団3件、PTA8件、町会6件、社会福祉5件、文化活動44件 合計90件。

① アンケート「地域活動の活性化と次代を担うなかまづくり」の結果についての意見交換（集計結果をもとに。）

- 主な意見は以下のとおり。

- ・ 10年前と変わらず、夜の会議などには無理して出ている状況がある。働いている方が増えているようで深刻になってきている。
- ・ 子育て団体の中で、町会や学校、役所などでそれぞれ独自に事業を行っているが、同じような内容なのでそれらをひとつにできないかという意見があったが、一本化できれば活性化することもあるのではないか。
- ・ 市民が主体的に作っている団体については、連携を強くしていくことで重複の解消はできるのではないか。
- ・ PTAは学校に入るとあるもので、任意の団体という感覚はない方が多いと思う。また、活動をどうにかしたいが考える余裕もないと思う。
- ・ 学校応援団などは行政から話があって始めたもので、自主的なものはほとんどないと思う。PTAにも入らなくてもいいのではという声もある。現場の人は考えるところもないので、いろんな活動を一緒にしていくことを考える機会を作ってほしい。
- ・ 行政から下りてきた仕事については整理する必要がある。それは、社会教育委員会にも求められているのではないか。
- ・ アンケートを答えている団体はそれぞれ性質が違うので、仕分けして整理していくと課題などクリアになっていくのではないか。
- ・ 質問6で自身にもたらした変化・効果のなかで、「家庭内の関係がよくなった」が少ない。子育て世代と文化活動関係では違う結果だ。部会を設けて整理していく必要がある。
- ・ 引継ぎがうまくいけば、大変ではないこともある。そこが課題ではないか。

また、学校などにはいろんなことをやってくれと来るが、コーディネーターが必要に思う。

- ・ 会議の時間など、子どもが学校に行っている時間に行えばよいが、かえって来る時間から始めるなど子どもを犠牲にして参加するのはどうかと思う。
- ・ 子ども会は仕事を減らしたいし、町会はいろいろと手伝ってほしいと思いが正反対になっている。
- ・ 負担感について平等でなければならないのではないか。
- ・ 仕事が偏っていることが多く、納得行く形にしないと解決しないのではないか。
- ・ 小さい小学校では、役割がみんなに回ってくるように全員参加を進めてきた。
- ・ 目的を持って活動していくのであれば楽しくできるが、やらされてとなるとそうはいかない。その点では、意識、気持ちの持ち方によって、自分にとってプラスになるし、おもしろさも発見できるし、よかったと思える。そのあたりのきっかけを。どう作っていくか
- ・ P T Aなどと文化活動は意識や見方が違う。P T Aはなくなると困るが、文化活動などはそうではない。切り口は変わってくる。
- ・ 文化団体は高齢化が進んでいる。後継者は必要であるが、若い人は少ない。文化活動の内容によっては若い人も活動しているし、ネットワークもあるが、伝統文化については難しい。
- ・ アンケートについては思っていたとおりの回答であった。団体の活動趣旨が違うから、分けて考えていくことがいい。
- ・ 家族を犠牲に活動しているのが多いのは課題ではないか。
- ・ 積極的なお父さんを中心にお父さんチームが自然発生しているというのはいいことに思う。
- ・ 会議などに子どもが来ることもあるので、遊ばせるしくみも必要ではないか。

②今後の分析とまとめについて

●主な意見は以下のとおり。

- ・ グループわけを行いまとめていくのがよい。
- ・ まとめたものを集約していくと、課題が見えてくると思う。
- ・ アンケートの記述以外の部分で総合的なまとめを出してもらい、その後にワーキンググループに分けて、原因と課題を考え協議していくことがいい。
→総合的にまとめたものは事務局で作成することにする。

以上の意見から、次の2つにグループ分けしていくことにした。

次回会議までは委員それぞれが集計結果から分析を進めていくことにした。

◎が代表（主にグループ協議進行役）、○が副代表（主にまとめ役）

■文化活動関係グループ（文化団体と社会福祉の中の4団体…合計48団体）

◎中沢委員 ○前田委員 高野委員 田尻委員

■子ども関係グループ（子どもに関わる団体…42団体）

◎児玉委員 ○武田委員 西山委員 羽石委員 長ヶ原委員

2. 報告及び連絡事項

(1) 平成24年度西部地区人権教育実践報告会の開催について
7月27日(金)午後1時～4時30分
出席委員は、「高野委員 田尻委員 西山委員」の3委員。

(2) 入間地区社会教育協議会第2回社会教育委員部会
7月11日(水)午後2時～ 所沢市役所

- ① 平成24年度入間地区生涯学習フォーラムについて
 - ② 平成24年度入間地区社会教育委員研修会について
- そのほかについて協議された。次回は9月12日。

(3) 平成24年度入間地区社会教育委員研修会の参加確認について
10月16日(火)午後0時40分～ 日高市総合福祉センター
<参加委員>羽石委員、長ヶ原委員、武田委員、田尻委員とする。

3. その他

(1) その他

- ・次回の日程は、10月6日土曜日、午前9時30分からとする。改めて、通知する。

(閉会)